

単元名 ことばを たのしもう

配当時間 2 時間

単元目標 (1) 長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くことができる。
 (3) 詩や早口言葉の音読を楽しみ、発声や姿勢に気を付けながら声に出して読もうとする。

標準的な展開例

01010209_001

【教材名】 ことばを たのしもう (下 P. 22～P. 23)

【準備等】 詩の本

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 濁音・半濁音・撥音の入った詩のおもしろさを味わいながら声に出して読む。 ○「ぞうさんの ぼうし」を読む。 ★詩や早口言葉を楽しんで読もう。</p> <p>○谷川俊太郎の詩を読む。</p> <p>2 早口言葉を調子よく、正確に唱える。 ○早口言葉を唱える。</p> <p>○他にもおもしろい発音の詩などを探して、声に出して読み合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵から様子を想像しながら読ませる。 濁音や半濁音を意識させる。 何度も声に出して言えるよう、一文ずつ読んだり、列ごとに分かれて読んだりするなど、読み方の工夫をする。 【評】詩を音読する活動を通して、語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する「知識・技能」を評価する。 意味を確認して読ませる。 手をたたきながら読むことで、音節を意識させる。 【評】詩を音読する活動を通して、音節と文字との関係に気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して発声する「知識・技能」を評価する。 手拍子を打つなどして、調子よく正確に唱えさせる。 何度も声に出させて読ませ、音の響きを楽しませる。 【評】詩や早口言葉の音読を楽しむ活動を通して、よりよい発声や発音ができるように練習しようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 【評】詩などの長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付く「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】